

ID ^{注1)}	151202	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	141202
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	------	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成27年度 白神山地遺産地域及び周辺地域における中・大型哺乳類調査業務 報告書 (定点カメラによる哺乳類調査)						発行年月/報告年月	
							2016年	1月
							資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター	委託機関	
------	-------------------------	------	--

調査開始年	2014年	5月	調査期間	2015年	5月	～	2015年	11月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	夏	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	II B	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1) (3)
----------	------------	-------------------	------	--------------------	---	--------------------	---------

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域 緩衝地域 周辺地域
 GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的
 白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査に位置づけられている中・大型哺乳類の生息状況を把握する事を目的に、白神山地周辺地域において自動撮影装置による調査を実施した。また環境省と協同して、近年白神山地周辺で目撃例が相次いでいるニホンジカやハクビシン等の分布拡大状況の把握にも努めた。

■調査対象種
 中・大型哺乳類

■自動撮影装置設置箇所
 ・深浦町：7箇所 ・鱈ヶ沢町：5箇所
 ・弘前市：6箇所 ・西目屋村：10箇所
 以上、白神山地周辺の青森県側に、合計28台設置した(図1)。

■調査期間
 平成27年5月14日～平成27年11月24日

■使用機器
 ・TREL10J (株GI Supply)：17台
 ・Fieldnote DUO ((有)麻里府商事)：10台
 ・Fieldnote DCs700 ((有)麻里府商事)：1台

■集計方法
 撮影された画像について、目視で種名や個体数等の判別を行い、調査地点ごとに確認種や個体数等を集計した。

結果概要 (スペースに収まるように入力してください)

自動撮影装置による動物の撮影個体数(連写の場合は、一連の撮影で写った最大頭数)は、全調査地点を通して不明種を含めて総計705個体、そのうち哺乳類は合計636個体撮影された(表1)。最も個体数が多かった種はニホンザルの302頭で、次いでカモシカ74頭、キツネ59頭、タヌキ45頭、ニホンノウサギ35頭と続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類13種、鳥類2種であった。

撮影個体数が特に多かった調査地点としては、④の150個体、⑨の77個体、⑤の72個体、③の61個体、⑥の42個体が挙げられる。一方、⑩、⑫、⑰、⑳、㉑の5地点については、いずれも5個体未満の確認となった(表1)。

9月から10月にかけて、③、④、⑫、㉒の4地点でニホンジカが1頭ずつ(図2)、11月には⑤の1地点でハクビシンが1頭撮影された(表1)。撮影されたニホンジカは④が性別不明、その他3地点は全てオスで、メス個体は確認されていない。

問い合わせ	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2754 青森県西津軽郡鱈ヶ沢町大字米町25-2 TEL: 0173-72-2931 FAX: 0173-72-2932 ≪原本(データ)の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

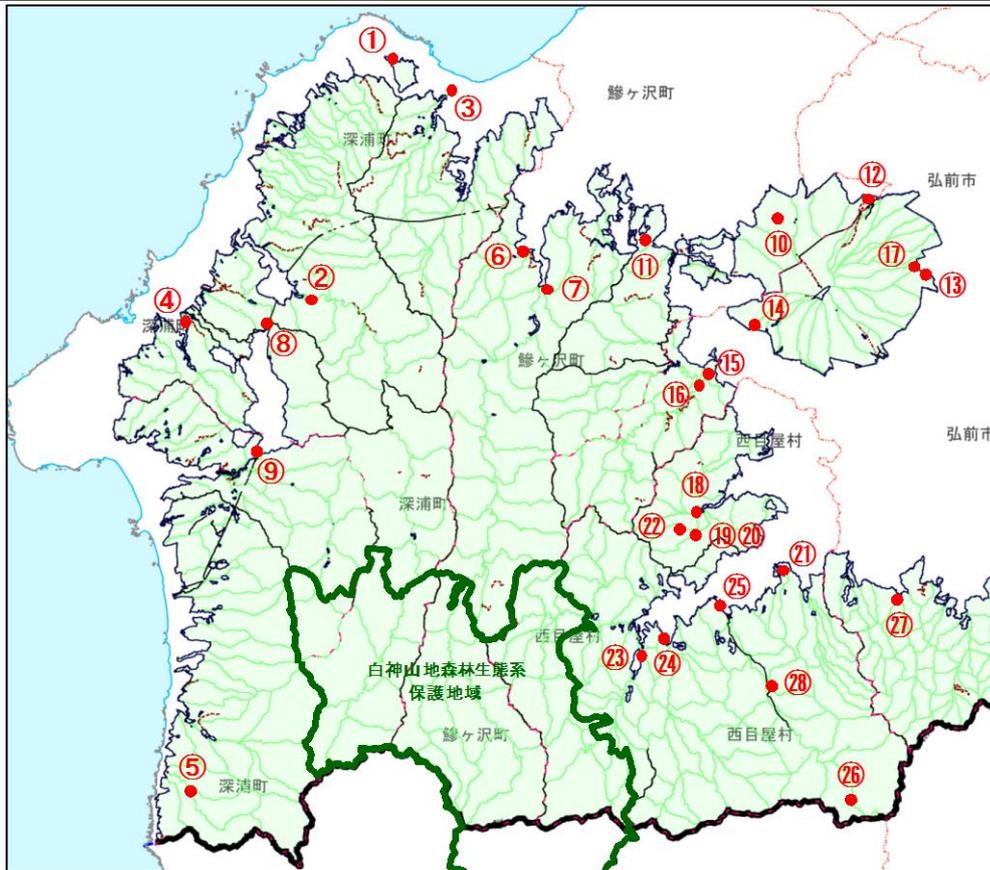
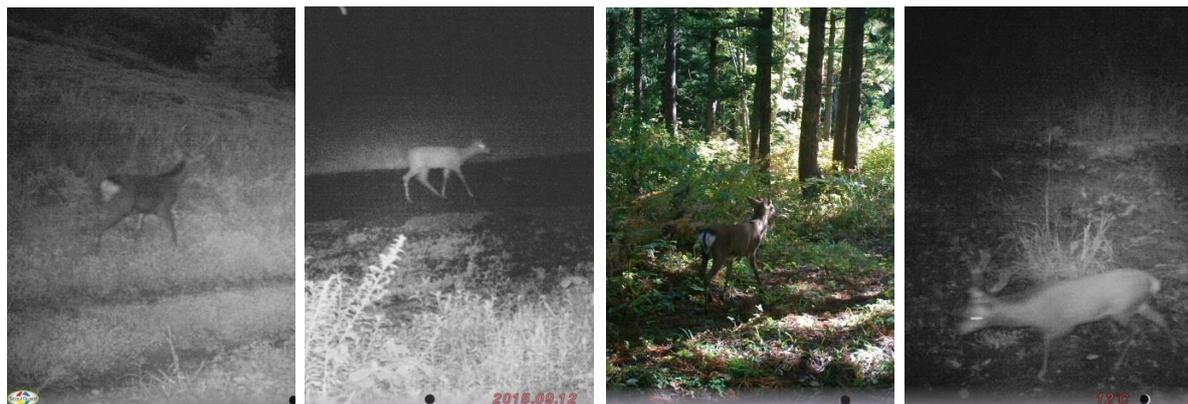


図1 平成27年度 自動撮影装置設置箇所

表1 自動撮影装置による各調査地点の確認種・個体数

地点No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	総計
ニホンザル	11		6	101	13	11	31	9	10		14			3	12	14		18	1	9		13	6	13	1			6	302
キツネ	2		14	30	2	1			6				1	1				1				1							59
ヌキ	1		19		9	1	1		10				1	2								1							45
ツキノワグマ	1	2		1	6	1	1	2	7			1	2	1				2				3					1	31	
テン					5		1	2	1									1											10
イヌ									2																				2
アナグマ			9						12					1			1												23
ハクシ					1																								1
イヌコ												1					1		1			2							5
ニホンジカ			1	1								1										1							4
カモシカ	3		1	1	25		2	5	15	1	1	1	2		6		2	1				7				1		74	
ニホンリス									1																				1
ニホンウサギ	4		3		6	2		1	7									1	3			3				5			35
コウモリ類					1	1						1																	3
不明哺乳類	2		6	12	2	1	2	1	6	1					3						1	3				1			41
ヤマドリ																									1				1
アオケラ								1																					1
不明鳥類			2		1			1																					4
不明昆虫類	1	9		4	1	24	1			2	3						1		5	4	2		1		2	3			63
合計	25	11	61	150	72	42	39	22	77	4	19	2	6	5	26	15	2	31	8	12	1	35	6	16	5	5	2	6	705



③: 10月7日

④: 9月12日

⑫: 10月15日

㉒: 10月6日

図2 自動撮影装置により撮影されたニホンジカ